

1. 昨年までの取り組み（動き）

6月 ◇「消防防災航空体制のあり方検討会」での検討結果

- ～
11月
- 林野火災の消火活動から段階的に活動を再開
 - 民間航空会社からの機体借上げ、操縦士・整備士派遣
 - ダブルパイロット制、安全運航管理幹の配置など安全対策

11議会で予算可決	
補正予算	44,143千円
(債務負担)	259,848千円)

2. 県消防防災航空センターの体制充実

12月 ◇安全運航管理幹の着任(12/11) 成山誠氏:元陸上自衛隊西部方面航空隊副隊長

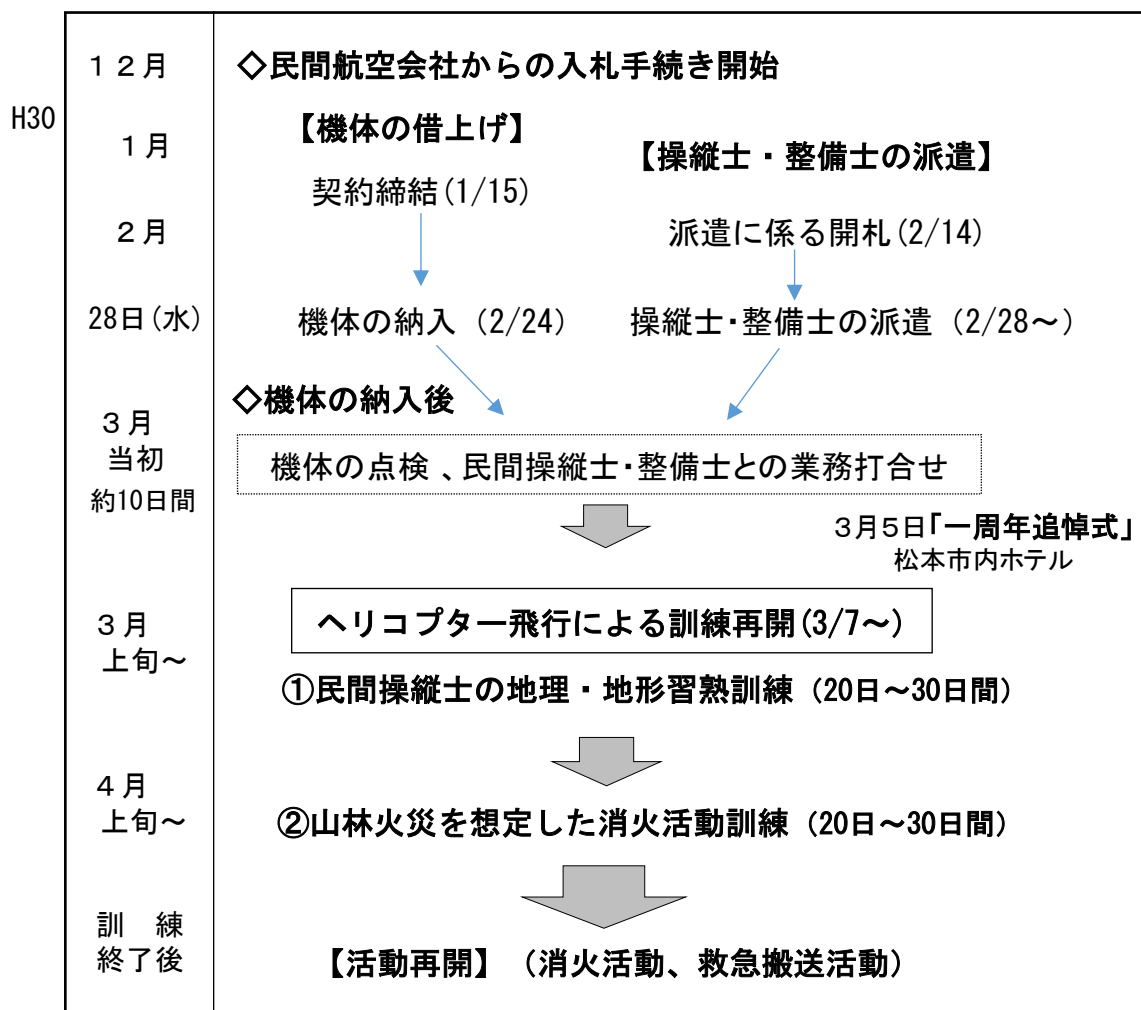
1月 ◇消防吏員の前倒し派遣(1/1～) 消防隊員:5名⇒9名

- ～
- ◇隊員に対する座学研修
(組織、法規、安全教育等)
 - ◇センター内での訓練
(降下訓練、手信号確認等)



訓練の様子

3. 運航再開に向けたスケジュール



4. H30 予算案 258,402千円 (民間機体借上げ、操縦士等派遣、隊員研修等)